



# 美小だより

よしかわしりつ みなみしょうがっこう

《吉川市立美南小学校》 3月号



令和5年3月1日発行  
〒342-0038  
吉川市 美南4丁目17番地3  
TEL 048(984)3730  
FAX 048(983)5268

## 広い心

校長 清水 孝二

令和4年度も残すところあと1ヶ月となりました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とはよく言ったものだと思います。あっという間に、卒業生は、あと15日、在校生は16日となりました。先月は多数の保護者様にご来校いただき、授業参観懇談会を実施させていただきました。お子様の成長の一端を感じ取っていただければ、幸いと存じます。

さて、12月にも道徳科の授業のことを書かせていただきましたが、先日4年生の授業を参観しながら、子どもの問題に対峙した時の親の接し方について、自分自身どうだったろうかと、改めて考えさせられる資料に出会いましたのでご紹介させていただきます。以下あらすじを掲載いたします。

### 「へらぶなつり」～主題「広い心」

主人公の明は、仲間の健二と共に、優勝を目指してへらぶなつり大会に出場する。明の父は、へらぶなつりの名人といわれ、「じゃくし」と言われる手作りのうきを持っている。このうきを明は父の了解を得ず、持ち出し、大会で使ってしまう。初めは調子良くつれていた。しかし、途中で竿を上げようとしたとき、石に引っかかってしまう。あせった明を助けようとして、友人の健二がさおを引いた時、しかけごとさおから外れる。

健二はあやまるが、明は怒りの言葉を健二にあびせた。健二は許しを請うが、明は耳を貸さず、家路についた。

明は、夕食ものどを通らず、おそろおそろ父に謝った。

その時父は、「お前の顔を見れば、心から反省していることが良く分かる。今更お父さんがせめなくても、自分で自分を十分にせめているようだからな。・・(略)・・」

(出典：みんなのどうとく4年)

というお話です。過去の私自身を考えた時、まずは、冷静にわが子の話を良く聞こう、と努力はしてきたつもりでした。しかし、時として自分の心に余裕がなかったり、本当に怒りが込み上げてきてしまったりした時は、明のお父さんのように子どもの反省の様子をしっかりと受け止めて対処できたか、と問われれば自信がありません。

明とその父親のように信頼関係で結ばれ、親は子どものことを考え、子どもは必ず叱られるだろう、とわかっていても真実を伝えるということできる、という関係が実はとても大切なことだと思います。ただ、叱るだけでなく、何が言いたいのか、どういう理由があったのか、どういった経緯があったのか「待つて話をじっくり聞く」ということが、大人の務めであると考えさせられた資料でした。

今年度も、保護者様、地域の皆様方から支えられ学校運営をさせていただきました。最後のまとめをしっかりと、来る令和5年度を迎えたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

学年	男子	女子	計
1年	107	105	212
2年	95	127	222
3年	110	122	232
4年	116	116	232
5年	102	114	216
6年	106	111	217
たけたん	22	5	27
計	658	701	1358

今月の生活目標  
学校をきれいにしよう

今月の保健目標  
自分の健康についてふり返ろう  
耳を大切にしよう

## 小学校生活最後の読み聞かせ

2月13日(月)に、森の広場の皆様から、6年生に向けて最後の読み聞かせをしていただきました。物語や詩の読み聞かせ、ムービーやことば漢字など、卒業する6年生にたくさん心のこもったメッセージをいただきました。6年生からも6年間の感謝の気持ちを伝えることができました。



## 1年間の集大成を披露しました

2月16日・17日・20日・21日と4日間に渡り、学年・クラスを分けて授業参観・学級懇談会を行いました。これまでの学習の成果を発表したクラスや普段の授業を行ったクラスなど、内容はそれぞれでしたが、子どもたちの1年間の成長した姿を見ていただくことができました。6年生は小学校最後の授業参観として、合奏や家族への感謝の言葉を発表しました。



## お知らせ

今年度も昨年度と同様に、年度初めにご提出いただく保健関係の書類は、ゆとりをもって作成できるように、3月末に返却・配付をいたします。春休み中に作成し、新年度に新しいクラスを記入してご提出をお願いいたします。詳しくは、3月末にご案内いたします。

## 3月の行事予定

1	水	集金日 委員会活動(最終)
2	木	集金日 6年生を送る会
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	表彰朝会
7	火	特別日課
8	水	特別日課 クラブ活動(最終) 教育相談日
9	木	特別日課
10	金	特別日課 卒業式練習①
11	土	
12	日	
13	月	特別日課
14	火	特別日課 卒業式練習②
15	水	特別日課 卒業式練習③ クラブ活動なし 全学年5時間授業
16	木	特別日課
17	金	特別日課 卒業式予行
18	土	
19	日	
20	月	特別日課 給食終了 1~4・6年4時間 5年卒業式準備
21	火	春分の日
22	水	第10回卒業証書授与式(1~5年生臨時休業)
23	木	3時間授業 6年生臨時休業日
24	金	修了式 3時間授業 6年生臨時休業日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	
4/1	土	
2	日	
3	月	
9	日	
10	月	始業式 3時間授業 下校11:50 入学式13:30~

学年末休業日・春季休業日

先日、地域の方から本校PTAが取り組んでいるベルマーク活動に協力したいと、ご家庭で集めたベルマークをご提供いただきました。学校の教育環境整備に活用させていただきます。誠にありがとうございます。

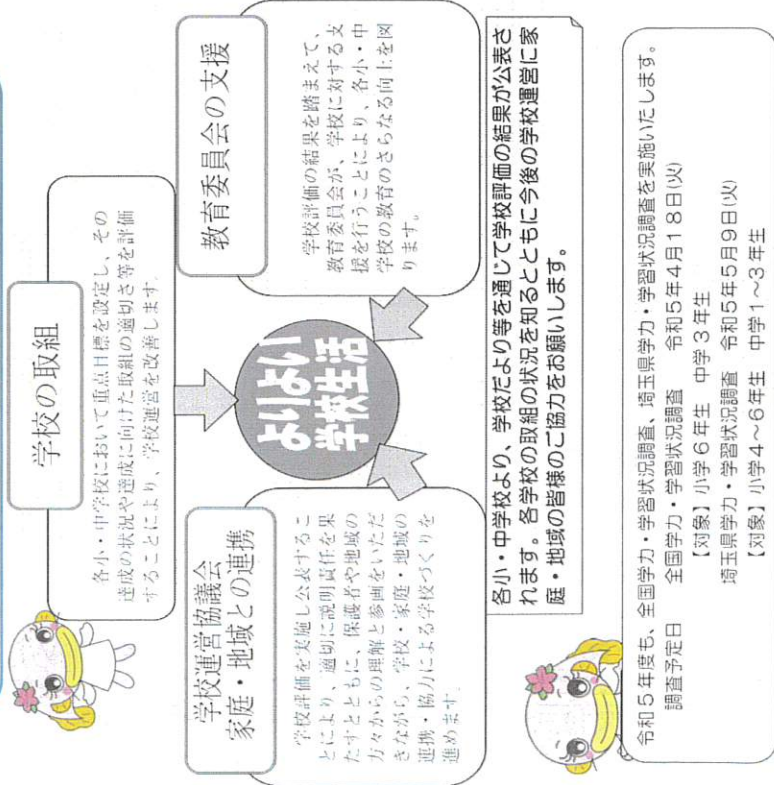
## 学校評価について

学校評価とは、児童生徒がよりよい学校生活が送れるよう、学校運営の改善と発展を目指すものです。

学校評価には、自己評価と学校関係者評価とがあります。

【自己評価】各学校の教職員が教育活動その他の学校運営の状況について自ら行う評価

【学校関係者評価】学校評議員、地域住民等の学校関係者が、各学校の自己評価の結果を踏まえて行う評価



日	曜	行事名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	水	委員会活動			14:35				
7	火	特別日課	14:15	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
8	水	特別日課	14:15	14:15	14:15	15:05	15:05	15:05	
9	木	特別日課	14:15	14:15	15:05	15:05	15:05	15:05	
10	金	特別日課	14:15	14:15	14:15	15:05	15:05	15:05	
13	月	特別日課	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15	
14	火	特別日課	14:15	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05	
15	水	特別日課 クラブなし	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15	
16	木	特別日課	14:15	14:15	15:05	15:05	15:05	15:05	
17	金	特別日課	14:15	14:15	14:15	15:05	15:05	15:05	
20	月	特別日課 5年5時間授業 1～4・6年4時間授業	13:05	13:05	13:05	13:05	14:15	13:05	
22	水	卒業証書授与式	臨時休業日						保護者と 並下校
23	木	3時間授業 6年臨時休業	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	
24	金	修了式 3時間授業	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	

## 学校評価

令和4年度の教育活動について、職員による自己評価と学校関係者による外部評価を行いました。この結果を踏まえ、来年度の教育活動のさらなる充実を図っていきます。なお、各項目4点満点となっています。

評価項目	No	質問事項	教職員評価値平均	関係者評価値平均
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3.6	3.9
	2	教職員はPDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	3.6	3.7
	3	学校は事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.7	3.8
	4	学校は清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3.5	4.0
	5	学校は小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3.5	3.9
との連携・協力	6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的に行っている。	3.4	3.8
	7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	3.9	3.9
	8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3.4	3.8
学力	9	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	3.6	3.9
	10	教職員は学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。	3.6	3.8
	11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	3.4	3.7
	12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	3.6	3.8
規律ある態度	13	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	2.8	3.7
	14	児童生徒は、学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	3.2	3.8
	15	児童生徒はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを努力を認め合って、学校生活を送っている。	3.4	3.5
	16	教職員は自ら手本となるなど、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	3.5	3.8
健康・体力	17	児童生徒は、体力向上に向け、体育の授業や部活動または外遊びに意欲的に取り組んでいる。	3.4	3.6
	18	学校は、児童生徒の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	3.4	3.7
生徒相談	19	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童生徒に寄り添った対応をしている。	3.7	3.9
	20	学校はいじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	3.7	3.9

※学校関係者とは、学校運営協議会委員(学識経験者、地域の方、PTA会長、吉中・中曾根小学校)とPTA副会長となっております。